

## 沐浴について

お産の現場においては、以前から生まれたばかりの赤ちゃんを「産湯（うぶゆ）」につけ赤ちゃんの体についている「胎脂（たいし）」を綺麗に洗い落とす習慣がありました。赤ちゃんを綺麗にすることが、からだに良いことだと考えられていたからです。

しかし最近、この「胎脂」が赤ちゃんの皮膚の保護や保湿にとっても有用であることがわかってきました。そのため様々な施設においてこの「産湯」の習慣はなくなり、代わりに産後3～5日目までは赤ちゃんの体を拭くだけのドライテクニックが行われるようになってきています。また、出生直後の沐浴を中止することにより、赤ちゃんのからだに悪い影響が出ないという論文も多数出てきています。

当院におきましても2018年9月より「産湯」は中止し、沐浴は胎脂が十分に落ちた3～5日目から行うこととしました。  
ご了承お願い申し上げます。

2018年9月1日  
院長



# 奥平産婦人科医院

Okudaira Obstetrics and Gynecology Clinic